

評価シート



学習者氏名：

評価日： 年 月 日

指導者氏名：

(1か月・2か月・3か月・6か月・12か月)

大	中	小	新任訪問看護師の 達成目標	目標時期			評価				評価の視点	目標・方策の方向性
				1～ 3か月	～ 6か月	～ 12か月	未経験	できない	指導のもと にできる	ひとり でできる		
訪問看護師としての基本的能力												
訪問看護ステーションの一員として働くことができる												
			基本姿勢	就業上のルールを守る	○							
				訪問看護の目的・サービス内容を理解する		○						
				事業所の理念・活動目標に沿った対応をする			○					
			基礎知識	基本的な医療保険、介護保険等の制度の仕組みを理解する	○							
				訪問看護の報酬体系、利用者負担等について理解する	○							
				地域の交通機関の利用方法、道路事情、訪問先の目印などを把握する	○							
			連携・相談	同僚・管理者と円滑なコミュニケーションをとることができる	○							
				日々の看護活動について、同僚・管理者に常に報告・連絡・相談する	○							
				一人で判断が困難な問題に関して、同僚・管理者に速やかに相談する	○							
				利用者・家族の問題に気付いた場合には、同僚・管理者に速やかに相談する	○							
			環境整備	訪問看護ステーション内の物品を整備・補充する	○							
			災害時対応	災害時対応マニュアルを理解し、災害発生時は指示に従い適切に行動する	○							
訪問看護師としてふさわしい態度・姿勢をとることができる												
			マナー	その場にふさわしい態度で挨拶する	○							
				礼儀正しい態度や言葉遣いで家族・利用者に対応する	○							
				来客・電話に適切に対応する	○							
			コミュニケーション	コミュニケーションを通して、利用者・家族との良好な関係をつくる	○							
			時間管理	訪問予定時間通りに訪問する	○							
			自己研鑽	知識・技術・態度などの不足を補うために自己学習する		○						
			健康管理	日頃の健康管理に努める	○							
訪問看護師としての専門的能力												
利用者・家族の生活を見ることが出来る												
			生活重視	利用者・家族の価値観や生活様式を受け入れる		○						
				治療優先でなく、生活を重視する	○							
			意思尊重	サービスの実施に当たり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重する	○							
			家族の健康	家族の健康に気を配り、健康管理や日常生活のアドバイスをする			○					
説明することができる・聴くことができる												
			概要説明	ステーションの概要、重要事項説明書・契約書内容・利用料金について理解する		○						
				提供する看護の内容を事前に分かりやすく説明する		○						
			指導助言	在宅療養に必要な教育指導を利用者・家族に行う	○							
			相談対応	利用者・家族からの相談に適切に対応する			○					
				相手の立場に立って、利用者・家族の話を聞く		○						
			カンファレンス	利用者・家族に関する事柄について、カンファレンス等で適切に説明する		○						
訪問看護サービスを提供することができる												
			訪問前準備	利用者個別に訪問の目的を理解する	○							
				必要な情報を収集し、具体的な目標を設定した看護計画を立てる	○							
				訪問先・訪問予定を確認して、必要な情報をもとにその日の援助計画を立てる	○							
				訪問看護に必要な物品や身支度を事前に整える	○							
			療養上の世話	訪問看護計画に基づいて療養上の支援(世話)を行う	○							
			看護技術※	訪問看護に必要な最低限の看護技術を身に付ける	○							
			感染管理	安全に感染予防及び医療廃棄物の取扱いを行う	○							
			環境整備	利用者の居室の生活環境(光、音、温度等)を整備する	○							
			訪問後対応	訪問後の物品片付け、衛生管理を行う	○							
				訪問後に事業所内・他機関に報告・申し送りをする	○							
			安心・安全	利用者・家族の安心・安全・安楽を念頭に置いてケアを提供する	○							
				緊急時の手当の方法、連絡方法を理解する	○							
			夜間対応	訪問看護ステーションの利用者全体の状況を理解し、夜間の携帯当番を担当する			○					
			判断	全身状態や生活の仕方、利用者の反応等を総合的視野から状況判断する			○					
			予防	利用者の病態から予測される問題に予防的に対処する			○					
地域の資源を理解し、連携することができる												
			地域の理解	地域の保健医療福祉機関・サービスを把握する	○							
				地域の中での訪問看護ステーションの役割を理解する		○						
				地域内の他機関・他職種の専門性を理解し、尊重する			○					
			地域連携	訪問看護の経過等を必要時、主治医に正確に報告・相談する	○							
				利用者の入退院時に、医療機関・その他の機関と連携する			○					
				介護支援専門員と連携・調整を行う		○						
				その他の関係機関との連携や調整を行う			○					
情報管理を適切にすることができる												
			記録	訪問看護記録・報告書・計画書を適切に書く	○							
				訪問後、速やかに訪問記録をつける	○							
			個人情報	個人情報保護の必要性を理解し、情報を適切に管理する	○							

※看護技術については、各事業所において具体的な項目を設定することが望ましい